



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松風

コード番号 7979 URL <http://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 根来 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 梅田 隆宏

TEL 075-561-1112

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,875	26.4	525	24.6	584	49.8	360	229.0
27年3月期第1四半期	4,649	12.7	421	809.6	390	452.5	109	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 591百万円 (73.2%) 27年3月期第1四半期 341百万円 (83.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	22.59	22.46
27年3月期第1四半期	6.87	6.84

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	29,764	22,217	74.4	1,385.97
27年3月期	29,442	21,781	73.7	1,360.19

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 22,149百万円 27年3月期 21,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,518	17.3	549	△42.2	468	△47.9	228	△64.1	14.34
通期	23,526	19.5	1,418	22.3	1,246	11.8	608	4.7	38.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	16,114,089 株	27年3月期	16,114,089 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	132,650 株	27年3月期	159,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	15,963,726 株	27年3月期1Q	15,941,579 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関連する事項については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に引き続き企業収益の改善がみられ、設備投資や雇用情勢も回復基調を維持するなど緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、ギリシャ債務問題や中国経済の減速懸念など、景気の先行き不透明感は払拭できない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、新たに当社グループに加わったMerz Dental GmbHの売上げが貢献したことなどから、5,875百万円と前年同期比1,226百万円(26.4%)の増収となりました。売上高に含まれる海外売上高は、2,439百万円(対売上高41.5%)と前年同期比995百万円(68.9%)の増収となりました。

利益面では、Merz Dental GmbHの子会社化に伴う費用の増加などにより、販売費及び一般管理費が前年同期比556百万円(24.4%)増加しましたが、増収効果により営業利益は525百万円と前年同期比103百万円(24.6%)の増益となりました。さらに為替の影響などにより営業外損益が好転したため、経常利益は584百万円と前年同期比194百万円(49.8%)の増益となり、税金費用を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は360百万円と前年同期比250百万円(229.0%)の増益となりました。

#### (デンタル関連事業)

国内では、前連結会計年度に引き続きデジタル口腔撮影装置「アイススペシャルC-II」や歯科用多目的超音波治療器「エアフロースターピエゾン」などが好調に推移し、またCAD/CAM関連製品も売上げに寄与したことにより、前年同期比増収となりました。海外では、北米・中南米や欧州、中国で堅調に推移し、さらにMerz Dental GmbHの売上げが貢献したことにより、前年同期比増収となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、5,344百万円と前年同期比1,113百万円(26.3%)の増収となり、販売費及び一般管理費は増加したものの、増収効果により営業利益は490百万円と前年同期比71百万円(17.1%)の増益となりました。

#### (ネイル関連事業)

ネイル関連事業は、国内において価格競争の激化が続き、厳しい市場環境となっております。このような状況のもと、前連結会計年度に一般消費者向けとして市場投入したジェルネイルシステム「by Nail Labo」が売上げに寄与いたしました。また海外では、アメリカや台湾においてLEDジェル「Presto」の売上げが好調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、509百万円と前年同期比113百万円(28.8%)の増収となり、営業利益は25百万円と黒字に転じ、前年同期比33百万円の増益となりました。

#### (その他の事業)

当社グループの株式会社松風プロダクツ京都において、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は、21百万円と前年同期比0.9百万円(4.1%)の減収となり、営業利益は6百万円と前年同期比0.7百万円(10.6%)の減益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ322百万円増加し、29,764百万円となりました。

資産は主に、受取手形及び売掛金が増加しております。

負債は、前連結会計年度末に比べ114百万円減少し、7,546百万円となりました。短期借入金の減少が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ436百万円増加し、22,217百万円となりました。利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイント上昇し、74.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

なお、当第1四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,724	4,257
受取手形及び売掛金	2,673	3,245
有価証券	36	87
商品及び製品	3,484	3,755
仕掛品	674	895
原材料及び貯蔵品	781	911
その他	3,333	1,217
貸倒引当金	△81	△88
流動資産合計	15,625	14,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,705	8,155
減価償却累計額	△4,402	△4,684
建物及び構築物(純額)	3,302	3,471
その他	8,232	9,112
減価償却累計額	△5,018	△5,487
その他(純額)	3,213	3,625
有形固定資産合計	6,516	7,096
無形固定資産		
のれん	-	1,444
その他	229	244
無形固定資産合計	229	1,688
投資その他の資産		
投資有価証券	5,278	5,193
退職給付に係る資産	1,065	1,076
その他	735	435
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,070	6,697
固定資産合計	13,816	15,481
資産合計	29,442	29,764

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	660	667
短期借入金	3,000	2,400
1年内返済予定の長期借入金	8	5
未払法人税等	136	146
役員賞与引当金	60	10
その他	1,645	2,213
流動負債合計	5,510	5,443
固定負債		
長期借入金	111	111
退職給付に係る負債	106	107
その他	1,933	1,883
固定負債合計	2,150	2,103
負債合計	7,660	7,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,576	4,576
利益剰余金	10,102	10,299
自己株式	△146	△121
株主資本合計	19,007	19,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,082	2,087
為替換算調整勘定	340	571
退職給付に係る調整累計額	271	262
その他の包括利益累計額合計	2,693	2,920
新株予約権	72	56
非支配株主持分	8	11
純資産合計	21,781	22,217
負債純資産合計	29,442	29,764

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,649	5,875
売上原価	1,942	2,508
売上総利益	2,706	3,367
販売費及び一般管理費	2,284	2,841
営業利益	421	525
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	30	31
会費収入	45	30
為替差益	-	56
その他	5	27
営業外収益合計	83	148
営業外費用		
支払利息	0	8
売上割引	41	41
当社主催会費用	53	30
為替差損	17	-
その他	2	9
営業外費用合計	114	89
経常利益	390	584
税金等調整前四半期純利益	390	584
法人税等	280	220
四半期純利益	109	364
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	109	360



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	109	364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	310	4
為替換算調整勘定	△72	231
退職給付に係る調整額	△6	△9
その他の包括利益合計	231	227
四半期包括利益	341	591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341	587
非支配株主に係る四半期包括利益	-	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,231	395	22	4,649	—	4,649
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	1	2	△2	—
計	4,231	395	24	4,651	△2	4,649
セグメント利益又は損失(△)	419	△7	7	419	2	421

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	5,344	509	21	5,875	—	5,875
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	1	2	△2	—
計	5,344	509	23	5,877	△2	5,875
セグメント利益	490	25	6	523	2	525

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、Merz Dental GmbHの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「デンタル関連事業」のセグメント資産が2,198百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「デンタル関連事業」セグメントにおいて、Merz Dental GmbHの株式を取得し、連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,383百万円であります。

なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。